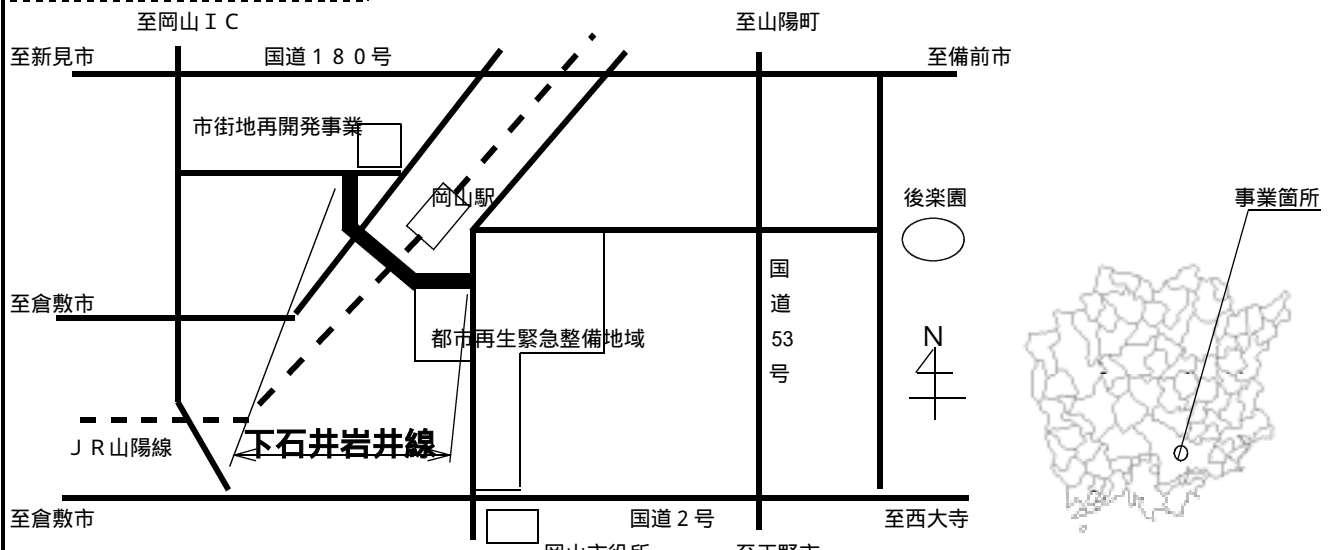


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：石崎 隆弘

事業名 <small>しもしいわいせんほがいっせん</small> 下石井岩井線外1線	事業区分 街路	事業主体 岡山県岡山市
起終点 自：岡山 <small>おかやまし</small> 市下石井一丁目 至：岡山 <small>おかやまし</small> 市昭和町		延長 0.6 km
事業概要 ：当路線は、JR岡山駅の東西を高架で連絡する延長615mの4車線道路で、駅西口の整備や再開発事業等、顔づくりとなる駅周辺の大型プロジェクトの交通インフラとして、またJR線によって分断されている岡山駅東西地区の一体的なまちづくりを促進する重要な路線である。		
H6年度事業化	S23年度都市計画決定 (S62年度変更)	H6年度用地着手 H8年度工事着手
全体事業費 ：約108億円		事業進捗率 ：95%
計画交通量 ：25,000台/日		供用済延長 ：0.1 km
費用便益分析結果 B/C： (事業全体) 4.2 (残事業)	総費用 ： (残事業)/(事業全体) / 98億円 (事業費)： / 98億円 (維持管理費)： / 0億円	総便益 ： (残事業)/(事業全体) / 416億円 (走行時間短縮便益)： / 351億円 (走行費用減少便益)： / 65億円 (交通事故減少便益)： / 0億円
基準年 ：平成15年		
事業の効果等 ・都市の再生（都市再生プロジェクトを支援する事業である） ・個性ある地域の形成（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消する） 他14項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 中四国広域圏の交通結節点にふさわしい顔づくりとして必要な路線である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等		都市再生緊急整備地域に指定
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度で用地買収は完了し、現在築造工事の推進に鋭意努力している。平成16年度へずれ込む工種の主なものは、歩道橋設置、起終点の交差点改良、舗装等である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		用地買収交渉が難航したため工事着手が遅れたが、現在全線にわたり工事を進めており平成16年度で供用できる予定である。
施設の構造や工法の変更等		特になし
対応方針		事業推進を図る。
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらず残工事もわずかである。
事業概要図		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。